

時代はデジタル。 プリンティングシステムの新しいカタチを構築します。

印刷物は、はるか昔から知識や情報を伝達し、文化の発展に寄与してまいりました。印刷技術の発達それ自体が、ひとつの文化と言っても過言ではないでしょう。

近年の印刷技術の進歩は目を見張るものがあり、鉛活字から電算写植システムへ、さらには DTP システム時代へと移行しております。今や、通信網の発達や低コストの情報伝達手段の進展に伴い、プリンターなど安価な印刷手段によって小ロットの部数でも印刷が可能になりました。また、職人的な技術が要求されたレイアウトなども、市販されているアプリケーションなどで美しいものができるようになり、印刷自体がクローズな世界からオープンなものへと変化しております。

レタープレス株式会社は、このような時代の流れに対応して、明治30年の創業以来プロフェッショナルとして常に積極的に先端技術を導入し、時代に即した設備投資を行ってまいりました。おかげさまで、学術印刷の分野ではその卓越した技術とノウハウに高い評価を得ております。

これからも、100年にわたる伝統と開拓者精神をもって、さらに技術と知識、感性を磨いて次代を見通し、電子ジャーナル化に対応した情報産業として鋭意努力を重ねてまいります。今後とも、デジタルコミュニケーションを標榜するレタープレス株式会社にご注目いただきますよう、よろしく願い申し上げます。



代表取締役社長 増田 達夫

COMPANY PROFILE

会社概要

本社	広島市安佐北区上深川町809番地の5
商号	レタープレス株式会社
資本金	2,000万円
営業品目	オフセット印刷、POD 印刷並びに製本 ポスター・カタログ・POP・会社案内 リーフレット・チラシ・ダイレクトメール パッケージ 他 出版物、機関誌、上製本、定期刊行物等の制作 データベース処理、CI 展開、広告企画 ビデオ制作、イベント企画進行、業務管理システム、翻訳業務 他 印刷物在庫管理、封入・配送業務
土地建物	工場敷地面積 2,420 m ² (第1社屋) 1,090 m ² (第2社屋) 240 m ²

会社沿革

明治30年	広島市塩屋町12番地に於いて増田兄弟活版所を創設、印刷及び製本を営業
昭和7年	工場狭隘のため大手町6丁目に新工場建設移転
昭和20年	戦災により工場焼失
昭和24年	広島市空鞆町94番地に、株式会社増田兄弟活版所を再建
昭和29年	株式会社増田兄弟活版所より分離、大学論文印刷研究所を創設
昭和31年11月	広島市十日市町2丁目に大学印刷株式会社を設立、前記事業を継続
昭和37年3月	三重県立大学紀要の天皇陛下御採集品に関する論文を印刷
昭和41年5月	社屋新築し、諸設備を充実
昭和52年12月	社屋新築し、オフセット設備を充実
昭和63年8月	広島市安佐北区上深川に社屋新築・移転
平成4年11月	第2社屋完成
平成10年6月	社名を大学印刷株式会社からレタープレス株式会社に変更

現在に至る